

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 11 号:2010 年 6—8 月期】

* 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

経済発展の実績

2010 年 7 月 16 日、ウズベキスタン共和国内閣の会議が開かれ、今年上半期の共和国の社会・経済発展の実績を総括した。

2010 年第上半期のウズベキスタン GDP は 8%の成長を見せた。工業生産 8 は%、消費物資生産 11.8%、農業生産 6.9%、建設工事売上高 11.5%、小売売上高 10.3%、住民へのサービス売上高 10.9%の伸びが確保された。国家予算は GDP 比 0.2%の黒字で執行された。

輸出額は 14.3%の成長が確保され、外国貿易額は 25 億ドルを上回る黒字が達成された。

総額 7 兆 1,000 億スム (44 億ドル、 対比価格で 4.8%の伸び)の投資が消化された。このうち、直接外国投資額は昨年同期に比べて 1.3 倍に伸びた (15 億 7,000 億ドル)。総投資額のうち、72%は生産建設に向けられた。生産設備更新に関する 108 の案件が実施され、529 の生産施設が稼働を開始した。

ウズベキスタンの銀行総資本は上半期実績で昨年同期に比べて 1.5 倍に増加し、3 兆 4,000 億スムに達した。銀行総資産額は 19 兆 9,690 億スムで、これは昨年 6 月末のこの数字 (14 兆 8,650 億スム) より 34%の増加である。住民の銀行預金総額は 7 月 1 日現在で 3 兆 9000 億スムだったが、これは昨年上半期末のこの数字 (2 兆 1,000 億スム) よりも 78%増加した。

2010 年上半期に商業銀行から基幹経済部門へ向けられた融資総額は 11 兆 1,000 億スムだった。このうち、投資目的のために供与された融資の比率はほぼ 79%を占めた。

国有株式会社「ウズベクエネルギー」は今年上半期に 210 億 7,000 万 kWh の電力と 420 万ギガカロリーの熱エネルギーを消費者に供給した。

この部門の商品生産額は予測を 2.3%上回り、製品とサービスの輸出額は計画を 13.5%上回った。ちなみに、昨年 1 年間に「ウズベクエネルギー」が消費者に供給した電力は 401 億 kWh、熱エネルギーは 820 万ギガカロリーである。

二国間関係

ウズベキスタンと中国が経済・貿易部門での協力の見通しを審議

ウズベキスタン副首相、対外経済関係・投資・貿易相エリョル・ガニエフが中国のジュン・シャン商務副大臣と会談した。これについてロシアの REGNUM 通信記者がウズベキスタン政府報道部で取材した。それによると、これは 6 月の上海協力機構加盟諸国首脳会議で行われた両国首脳会談後、最初の中国高官のウズベキスタン訪問である。

「会談で双方は両国首脳が合意した協力協定を速やかに実現することに関して意見を交換した。また、経済・貿易部門で協力を深める問題も話し合われた」と、報道部員は語った。

報道部員によれば、胡錦濤中国国家主席はウズベキスタン公式訪問（2010年6月10日）の際に、原料セクター（エネルギー産業、ガスパイプライン建設、資源共同開発）と、非原料部門セクター（ハイテク、金融、投資）の両方で協力を活発化することを呼びかけた。首脳会談後、双方は一連の文書に署名した。この中にはウズベキスタンからの「エネルギー材料」の供給に関する文書も含まれていた。両国の国有石油ガス会社は天然ガスの売買に関して枠組み協定を結んだ。双方はまた石油ガス分野の協力拡大に関する覚書に調印し、「ウズプロムストロイバンク」と中国輸出入銀行が管制システム保障案件に関する融資協定に調印した。

日本政府がウズベキスタンの人材育成に 260 万ドルを支出

7月15日、ウズベキスタン内閣府で日本政府の無償資金協力「人材育成奨学計画」の枠による交換文書の調印式が行なわれた。このプロジェクトは日本政府により 1999 年から実施されている。その目的は、将来、国家公務員や専門家として政治、経済、金融、立法の分野で国家発展戦略策定に直接参加することになる高資格の人材育成である。これまで日本の大学で 191 名のウズベキスタン市民が研修を受けた。

金融セクター

中国開発銀行がウズベキスタン対外経済活動ナショナル銀行(NUB)に 7,500 万ドルの融資枠を開設

この協定は上海協力機構加盟諸国首脳会議の枠内で 6 月 10 日にタシケントで調印された。このクレジット資金は小ビジネスと個人営業の案件、また、ウズベキスタンにおける投資案件の融資に充てられる。ちなみに、NUB と中国開発銀行は 2006-2007 年に総額 8,000 万ドルの融資枠を前者に提供する協定を結んでいる。この資金は大規模プロジェクトと小ビジネスへの融資用だった。

中央銀行が非公開株式会社の民間商業銀行 Orient Finans に全銀行業務営業ライセンスを発給

Orient Finans 銀行の公称資本金は 114 億 8,000 万スム以上。株主構成は個人が 80%である。ウズベキスタンの商業銀行数はこれにより 31 行になった。

エネルギー・セクター

「ウズプロムストロイバンク」と中国輸出入銀行がウズベキスタンのガス配給システム近代化のために総額 7,000 万ドルの融資協定に調印

この資金は上海協力機構加盟諸国への融資プログラムによるウズベキスタンと中国の経済協力の枠で供与された。資金はガス輸送網管制・技術データ通信システム (SCADA) を導入する案件 (総額 7,740 万ドル) の実施のため 2010-2011 年に利用される。SCADA は全長 2,000km オーダーの光ファイバー線になる。

ウズベキスタンと《Petronas Carigali Overseas》(マレーシア) がスルハンダリア地域のバイスン投資ブロックに関する PS 協定に調印

この協定は、直接外国投資と先進的な専門テクノロジー (調査, 開発, 生産用) を誘致することにより炭化水素の採掘量と輸出量を増やす目的で採択された。PS 協定の総費用は 6 億 6,000 万ドル、期間は 35 年。案件の枠による計画ガス採掘量は年間 22 億立方 m となる。2006-2008 年に Petronas はバイスン・ブロックの地質調査プログラムに約 8,000 万ドルを投資した。

中国とウズベキスタンがウズベク産ガスの対中国供給協定に調印

ウズベキスタンは毎年、100 億立方 m の天然ガスを中国へ供給することになる。中国石油天然ガス会社 (CNPC) と「ウズベクネフチェガス」との枠組み協定に基づき、ウズベキスタンのガスパイプライン系統と「中国＝ウズベキスタン」ガスパイプラインを接続するために共同作業を行なう。ウズベク産ガスのほか、トルクメニスタンからのガスもこのパイプラインを使って中国へ輸送される。

世界銀行がウズベキスタンの工業企業のエネルギー効率向上向け融資を承認

このプロジェクトの融資を仲介するのは「アサカ」銀行、「ウズプロムストロイバンク」、「ハムコルバンク」。プロジェクトは、省エネ投資への融資メカニズムを策定し、導入することを予定している。とくに、ウズベキスタンの工業企業のためにエネルギー効率戦略を策定することが計画されている。さらに、工業セクターにおけるエネルギー効率プロジェクトの準備・実施問題に関する特別の教育プログラムが実施される。プロジェクトの総費用は 3,460 万ドルで、期間は 5 年。この費用のうち、世界銀行が 2,500 万ドルを供与し、ウズベキスタンの銀行と工業企業が 960 万ドルをフ

ファイナンスする。

ウズベキスタンで地質調査を行なっている外国企業が計画する 2010-2015 年期の投資額は 19 億ドルを上回る

これを発表したのは、国有持ち株会社「ウズベクネフチェガス」関連会社 OAO「石油ガス鉱床地質・探鉱研究所」の所長ガイブラ・アブドゥラエフ。最も多額の投資を予定しているのは次の会社である—「ルクオイル」, 「ガस्पロム」, 「ペトロアリヤンス」(以上、ロシア), CNPC インターナショナル(中国), 韓国石油公社, Petronas Carigali Overseas (マレーシア)。炭化水素商用埋蔵量の増加分のうち、外国会社によって探鉱された比率は 2009 年には 39%を占めた。2015 年にはこの比率は 50%まで伸びると予測されている。2006-2009 年の期間に石油ガスの地質調査作業に合弁企業と外国会社が行なった外国投資額の合計は 11 億 2,000 万ドルだった。

MASDAR 社(アブダビ)が 2010 年下半期にフェルガナ州のガス配給システム近代化に着手

これはクリーン開発メカニズム(CDM)のプログラム枠によるもので、3 年間に同社は新しいパッキング材の導入や、ガス漏れの発見, 測定, 一掃のモニタリングをする追加の測定装置の設置を行なう。このプロジェクトの実施により、フェルガナ州では年間 280 万立方 m までの天然ガスの節約が可能になる。MASDAR 社は 2009 年に「ウズベクネフチェガス」の総額 6,650 万ドルの競争入札に当選した。プロジェクトのファイナンスは、ウズベキスタン政府の保証なしに同社が導入する資金によって行なわれる。

ウズベキスタンで電力消費量算定と検針の自動化システム(ASKUE)の導入開始

国有株式会社「ウズベクエネルゴ」とチェコの子会社コンソーシアム Inecon Power-Sitronics はウズベキスタンでの ASKUE 実現に関する戦略的パートナーシップについての覚書に署名した。プロジェクトの実施期間は 1 年間、その費用は 3,480 万ドルになる。プロジェクトの実現により、年間 27 億 5,000 万 kWh の電力節約と年間 190 万トンまでの温室効果ガス削減が可能になる。節約される電力の価格は年間 1 億 2,500 万ドルオーダーに達する。プロジェクトのファイナンスは「ウズベクエネルゴ」の資金、「ウズベキスタン復興開発基金」、また、外国の投資とクレジットにより行うことが計画されている。ASKUE の導入は総額約 3 億 6,000 万ドルの電力算定システム近代化プログラムの第 1 段階である。

カリモフ・ウズベキスタン大統領の決定により、ガス輸送システム工程自動管理システム(SCADA)整備プロジェクトの実施段階を承認

2009 年に Alcatel-Lucent Shanghai Bell Co. (中国)は AK「ウズトランスガス」と総額 7,747 万ドルのガス輸送システム施設の設計, 教育, 設備供給, 建設・据え付け作業実施, 始

動・調整、稼働開始に関する契約をターンキー方式で締結した。本案件のファイナンスのために OAKB「ウズプロムストロイバンク」と中国輸出入銀行の間で中国政府の優遇クレジット導入に関する個別借入協定の調印について合意が達成された。ウズベキスタン政府は 2009-2013 年の間に共和国のガス配給システムの近代化を実施することを決定済みである。

その他のセクター

ウズベク・中国合弁企業《Uz-China Uran》（2009年8月設立）が中央キジルクムでボズタウ有望エリアの地質調査に着手

協定の条件に基づき、中国側が Uz-China Uran の製品を国際価格で取得する優先権を得ることになっている。地質調査の結果しだいで 2010-2011 年中にウラン鉱石採掘・加工施設を鉱床発見地区に建設する決定が行なわれる。地質調査への投資額は 200 万ドルのオーダーになる。

アフガニスタン（マザリ・シャリフ市）に GM Uzbekistan の販売センターがオープン

これによりアサカとサマルカンド両工場製の自動車をアフガン市場で販売できるようになる。アフガニスタン国内での GM Uzbekistan と《SamAuto》製自動車の販売権は現地企業 Inter Asia Trade が獲得した。

韓国の KDC Enertek 社が 2011 年にナヴォイ州に工場建設を計画

協会「ウズエルテフプロム」と KDC Enertek 社は、省エネのダイオードおよびセラミック照明器具生産工場の設立に関する協定に調印した。企業の生産施設は経済特区「ナヴォイ」の領域内に配置することが計画されている。2010 年下半期に工場建設に着手する予定。

Posco Engineering & Construction（韓国）と China Road and Bridge Corporation（CRBC, 中国）が 2011 年末までにカラカルパクスタンの自動車道路 A-380 の 2 区間を改修

延長 1,204km の自動車道路 A-380 は、ウズベキスタンを南でアフガニスタン、トルクメニスタンと、北でカザフスタンと結ぶトランジット回廊の一部である。総額 1 億 7,350 万ドルのこのプロジェクトは、アジア開発銀行の融資 7,530 万ドルと政府資金 9,820 万ドルにより実施される。

ウズベク・ドイツ合弁企業《Uz CLAAS Agro》が OAO「タシケント・トラクター工場」(TTZ) をベースに大型ユニット組立生産に着手

この合弁企業では穀物収穫コンバイン、汎用中耕トラクターを組み立てる。当初の生

産能力は年間 500 台オーダーの農機。内訳は汎用中耕トラクター200 台、穀物収穫コンバイン 170 台、その他の補助機械。2010 年末までに 100 台の農機を組み立てる。そのうち 20 台の穀物収穫コンバインは近隣諸国への輸出に向けられる。合弁企業の発展ビジネスプランによれば、国産化レベルを 2013 年に 50%まで引き上げねばならない。合弁企業「Uz CLAAS Agro」はドイツの CLAAS Central Asia Investment GmbH と TTZ により 2010 年 2 月に資本金 100 万ユーロで設立された。合弁企業の持ち分は TTZ が 51%、CLAAS Central Asia Investment GmbH が 49%である。

航空輸送市場の拡大続く

ウズベキスタン国営航空は今年上半期に昨年同期に比べ 14.4%増の乗客と 2.5 倍増の貨物を輸送した。全貨物の半分以上（1 万 1,700 トン）は大韓航空からリースした A300-600 機により、ナヴォイからデリー、ムンバイ、バンコックへのルートで輸送された。3 月と 5 月にはさらにフランクフルトとダッカの 2 ルートが加わった。

国営会社「ウズベクツーリズム」に観光インフラ投資・発展委員会を付設

この委員会の使命は投資案件の分析と管理、並びに将来性のある観光種目の調査を含む情報分析活動の管理、この分野での官民パートナーシップの調整、ウズベキスタンの観光地域の投資魅力向上である。このほか、「ホテル・インフラ発展プログラム」の策定も開始された。その目的はホテル客室総数を 16 万 8,000 室まで増やすこと。そのためにホテル投資案件を支援する環境が整備される。策定が予定されているもう 1 つのプログラムは、ウズベキスタンの観光輸送インフラの発展、現有交通手段数の拡大、公共交通における観光客への輸送サービス提供制度改善に向けられる。2009 年にウズベキスタンを訪問した外国人観光客の総数は約 40 万人だった。観光サービスの輸出額は 2009 年には 2007 年に比べてほぼ 2 倍に増え、ほぼ 1 億ドルに達した。